

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

急性腹症診療ガイドライン 2025 第 2 版

急性腹症診療ガイドライン 2025 改訂出版委員会

医薬書院 2025 年 3 月 1 日発行

Minds 掲載 無(旧版のみ掲載あり)

Grading Scale of Strength of Evidence:

高：質の高いエビデンス 真の効果がその効果推定値に近似していると確信できる。

中：中程度の質のエビデンス 効果の推定値が中程度信頼できる。

真の効果は、効果推定値におおよそ近いが、実質的に異なる可能性もある。

低：質の低いエビデンス 効果推定値に対する信頼は限定的である。

真の効果は、効果の推定値と、実質的に異なる可能性がある。

非常に低：非常に質の低いエビデンス

Grading Scale of Strength of Recommendation:

強い推奨：“実施する”ことを推奨する “実施しない”ことを推奨する

弱い推奨：“実施する”ことを提案する “実施しない”ことを提案する

■1 漢方薬 (山梔子含有)

疾患:

腸間膜静脈硬化症 (副作用)

引用など:

Wen Y, Chen YW, Meng AH, et al: Idiopathic mesenteric phlebosclerosis associated with long-term oral intake of geniposide. *World J Gastroenterol* 2021; 27: 3097–3108. PMID : 34168411

副作用に関する記載ないしその要約

『BQ20 急性腹症ではどのような患者背景を聴取するか?』の『3薬剤服用歴や嗜好歴を聴取する』に以下の記載がある

『山梔子を含有する漢方薬による腸間膜静脈硬化症は本邦やアジア等の漢方薬を使用する医療圏で報告されており、腹痛や血便をきたすことがある』 (OS: 観察研究、コホート研究、症例対象研究、横断研究)

備考:

(表 V-9 薬剤と急性腹症を起こしうる疾患) に「漢方薬 (山梔子含有)」の記載がある。